平成２４年度全国統一品質管理監査
実施要領

平成２４年６月

宮城県生コンクリート品質管理監査会議
宮城県生コンクリート品質監査委員会

平成２４年度全国統一品質管理監査
実施要領

目　　次

１．品質管理監査制度 1

1.1 品質管理監査会議 1

1.2 品質監査委員会 1

1.3 品質監査補助員 1

1.4 立入監査の内容 1

２．品質管理監査の組織 2

2.1 組織図－組織と役割り 2

2.2 品質管理監査会議の構成 3

2.3 品質監査委員会の構成 4

2.4 品質監査補助員の構成 5

３．平成２４年度全国統一品質管理監査実施依頼工場 6

４．品質管理監査 年間スケジュール 7

５．品質管理監査実施項目および要綱 8

６．品質管理監査適合判定基準 9

７．チェックリストの主な改正点 10

平成２４年度全国統一品質管理監査
実施要領

１．品質管理監査制度

この制度は，宮城県内の生コンクリート工場が製造するレディーミクストコンクリートを，産・官・学体制の第三者機関により品質管理監査を実施し，結果の判定を行い関係業界に対し品質を保証し，使用者からの高い評価と，信頼並びに理解を得ることを目的としたものです。

1.1 品質管理監査会議

本会議は，産・官・学から推薦された委員並びに生産者側委員をもって構成し，総合的な監査計画の立案，立入検査の実施，並びに監査結果の判定と合格工場への合格証交付，また，改善を要する工場への勧告などを行い，品質管理の向上を図るものです。会議が年３回程度開催されます。

1.2 品質監査委員会

本委員会は，産・官・学から推薦された委員並びに生産者側委員をもって構成し，宮城県内の生コンクリート工場が製造するレディーミクストコンクリートの品質管理監査を行うものです。

本委員会の委員には，監査員として，品質監査補助員を同行し組合員工場に出向き，立入監査を実施して頂きます。１日１工場で，年間１名当たり２～４工場行っていただきます。他に会議が年３回，研修会が１～２回程度開催されます。

1.3 品質監査補助員

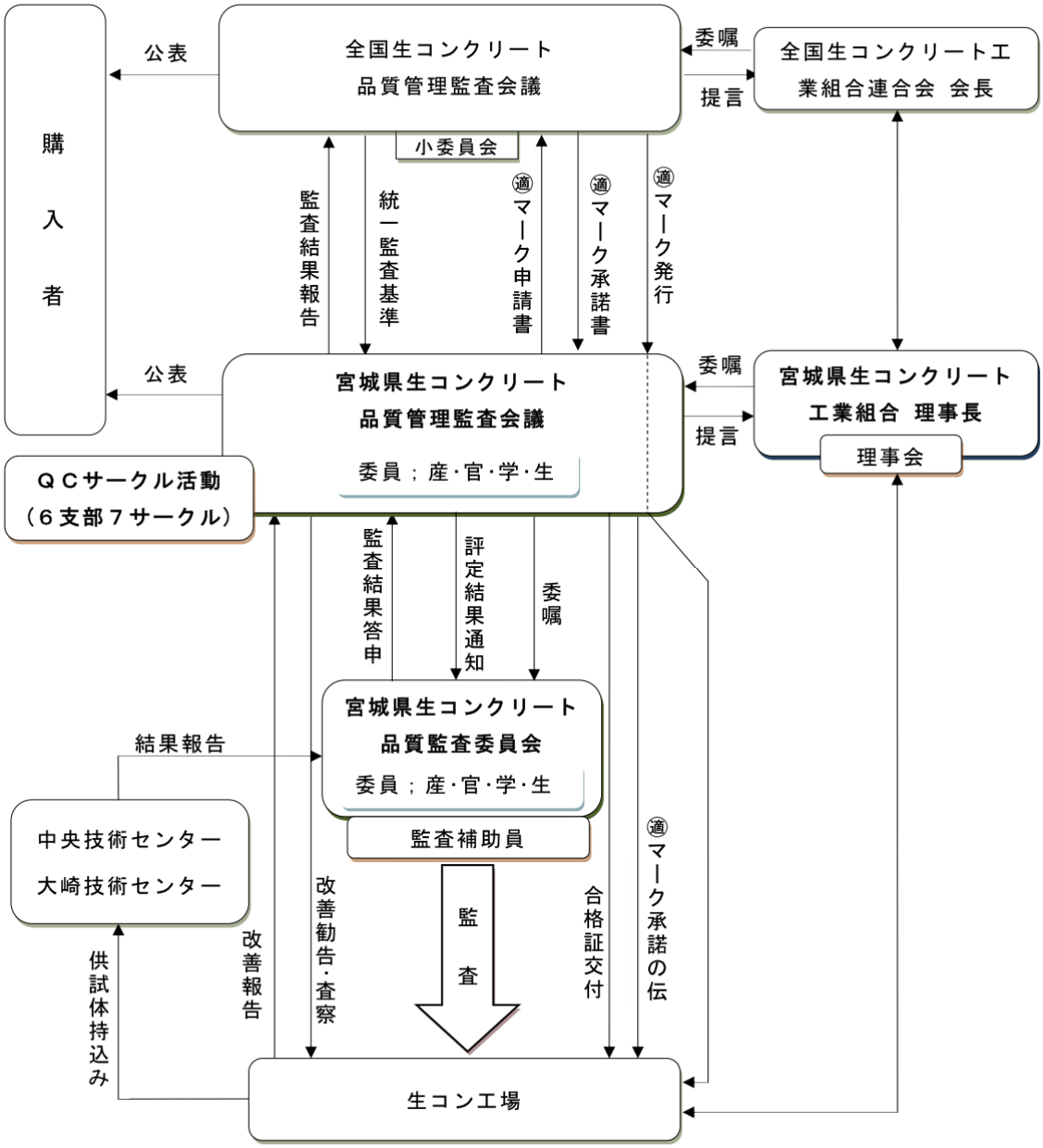
組合員工場の技術担当者のうちから，各支部の推薦により委嘱し，監査員の補助的業務を行います。

1.4 立入監査の内容

立入監査は，全国生コンクリート品質管理監査会議（「全国会議」とも呼ばれます）が定める「全国統一品質管理監査基準（平成２４年度版）」および「レディーミクストコンクリート全国統一品質管理監査チェックリスト（平成２４年度版）」（以下，「チェックリスト」という）に則って実施します。調査は工場を往訪し，ヒアリングだけではなく社内規格，品質記録および現認（現場での確認）に基づいて行います。チェックリストは，「A 総括的事項の調査」（２０項目），「B 個別的事項の調査」（８９項目）および「C 実地調査」（５項目），並びに「望ましい事項の調査」（１１項目）を加えた合計１２５項目の調査項目からなっています。また，当宮城県生コンクリート品質管理監査会議（「地区会議」とも呼ばれます）では，監査においてこれに「単位水量の検査」加えて実施します。

２．品質管理監査の組織

2.1 組織図－組織と役割り



2.2 品質管理監査会議の構成

（敬称略）

所　　属		委嘱 （人員）	役　職・氏　名
[学]	○東　北　大　学	（１） 議　長	名 誉 教 授　　三 浦　尚
	○日 本 大 学 工 学 部	（１） 副議長	教 授　　岩城 一郎
[官]	○国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所 仙台河川国道事務所 北上川下流河川事務所 塩釜港湾･空港整備事務所	（４） 委　員 委　員 委　員 委　員	品質調査課長　阿部 誠司 副所長　大場 義行 品質確保課長　関野 広光 先任建設専門官 高橋　毅
	○宮城県 土木部	（１） 委　員	事業管理課長　門脇 秋彦
[産]	○建設業協会 (社)宮城県建設業協会 (社)仙台建設業協会	（２） 委　員 委　員	常務理事　伊藤 博英 ㈱橋本店 常務取締役　佐藤 茂夫
[生]	○宮城県生コンクリート 工業組合	（４） 委　員 委　員 委　員 委　員	専務理事　田中 雄一 理事　石塚 義隆 技術委員長　高橋 正夫 技術部長　細川 清志

（計１３名）

2.3 品質監査委員会の構成

（敬称略）

所　　属		委嘱（人員）	役　職・氏　名	
[学]	○日 本 大 学 工 学 部	（1） 委員長	教　授	岩城 一郎
[官]	○国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 〃	（2） 委　員 委　員	 名取川出張所長 仙台東国道維持出張所長	 蔦屋　厚 田口 秀美
	○宮　城　県 大河原土木事務所 仙台土木事務所 仙台土木事務所 北部土木事務所 栗原地域事務所 東部土木事務所 登米地域事務所 気仙沼土木事務所	（8） 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員	 技術次長 技術次長 技術次長 技術次長 技術次長 技術次長 技術次長 技術次長	 佐々木勇記 加藤 庄寿 大森 満康 鈴木 浩一 渡辺 敏治 松澤 顕彦 佐藤　亮 及川 正行
[産]	○(社)宮城県建設業協会 (社)仙台建設業協会 〃 仙　南　支　部 〃 石　巻　支　部 〃 大　崎　支　部 〃 登　米　支　部 〃 気仙沼　支　部 〃	（１２） 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員	 ㈱高工 取締役副社長 赤坂建設㈱ 顧問 ㈱八重樫工務店 建築部長 ㈱本田組 技術顧問 若生工業㈱ 取締役総務部長 ㈱丸本組 営業部企画課課長 ㈱金原土建 常務取締役 ㈱村田工務所 管理次長 ㈱太田組 管理課長 ㈱渡辺土建 建築部長 ㈱遠藤組 代表取締役 ㈱阿部伊組 土木部長	 齋藤　明 寺嶋 健男 佐々木淳一 三浦 孝一 遠藤 宗夫 阿部 俊幸 筆田 明砥 佐々木光夫 佐々木竹春 小野寺清志 遠藤 善治 小野寺 正
[生]	○宮城県生コンクリート 工業組合	（5） 委　員 委　員 委　員 委　員 委　員	 専務理事 理事 技術委員長 技術副委員長 技術部長	 田中 雄一 石塚 義隆 高橋 正夫 千葉 和博 細川 清志

（計２８名）

2.4 品質監査補助員の構成

１）品質監査補助員(工業組合)　（12 名）

支部名	氏　　名	所　属　工　場　名	電話番号
仙台	高橋正夫 貴田金兵衛 鈴木宏武	仙台生コンクリート㈱本社工場 多賀城カイハツ㈱ ㈱吉田レミコン 仙台工場	022-258-0211 022-258-1291 022-343-2311
県南	鑓水　隆 渡辺健一	白石生コンクリート㈱ 角田レミコン㈱亘理工場	0224-25-2828 0223-37-2700
石巻	高橋雄二 安倍進也	㈱平成生コンクリート ㈱オナガワ	0225-97-5752 0225-53-3108
大崎	工藤　寛 松本研一	㈱大崎共同生コン 西工場 宮城県生コンクリート 大崎技術センター	0229-67-3301 0229-22-1311
気仙沼	阿部敏光	㈱高野コンクリート	0226-46-5403
県北	伊藤俊行 狩野　実	㈱築館生コン 大協企業㈱北宮城生コン工場	0228-22-4031 0228-22-1431

（２）品質監査補助員(支部)　（16 名）

支部名	氏　　名	所　属　工　場　名	電話番号
仙台	高橋敬一 加藤益夫 繁田雅啓 松坂秀信 佐藤準一 大場豊彦 松浦　孝 鎌田健一	泉コンクリート工業㈱大和工場 いずみ興産㈱ 多賀城カイハツ㈱ 仙台生コンクリート㈱本社工場 仙台中央生コン㈱多賀城工場 ティーケー生コン㈱ 宮城太平洋生コン㈱名取工場 宮城カイハツ㈱阿武隈工場	022-346-2790 022-394-3341 022-258-1291 022-258-0211 022-363-3535 022-231-3186 022-384-2204 0223-34-3581
県南	大槻隆雄 門脇辰也 菅野好裕	仙南生コンクリート㈱本社工場 角田レミコン㈱本社工場 宮城県南生コン㈱	0224-32-2331 0224-63-3211 0224-52-3233
石巻	齋藤正人	石巻カイハツ生コンクリート㈱	0225-82-2381
大崎	伊藤信裕	仙台カイハツ生コンクリート㈱	022-343-2031
気仙沼	三浦清勝	北部生コンクリート㈱	0226-23-6611
県北	佐々木寛之 佐藤有志	丸宮コンクリート工業㈱ ㈱佐沼生コン	0225-76-2305 0220-58-2205

（計 28 名）

３．平成２４年度全国統一品質管理監査実施依頼工場

県内６つの生コン協同組合から，合計４２工場について品質管理監査の実施依頼がありました（下表）。

地区	会社・工場名	住所	電話番号
仙台	東北建材産業(株)カイハツ生コン工場	983－0034　仙台市宮城野区扇町4－7－45	022－284－1531
	(株)ティーケー生コン	984－0015　仙台市若林区卸町四丁目6番地の1	022－231－3186
	宮城太平洋生コン(株)名取工場	981－1226　名取市植松字田野部124番地	022－384－2204
	仙南生コンクリート(株)釜房工場	989－1507　宮城県柴田郡川崎町大字支倉字中原裏山36－1	0224－86－2111
	多賀城カイハツ生コン(株)	983－0013　仙台市宮城野区中野字上小袋田1－1	022－258－1291
	いずみ興産(株)	989－3212　仙台市青葉区芋沢字大竹新田下19－1	022－394－3341
	(株)吉田レミコン　仙台工場	981－3413　宮城県黒川郡大和町鶴巣幕柳字宇津野2	022－343－2311
	渡兵レミコン(株)	984－0002　仙台市若林区卸町東五丁目3番8号	022－288－5743
	宮城カイハツ(株)阿武隈工場	989－2301　宮城県亘理郡亘理町逢隈中泉字水塚7番地2	0223－34－3581
	仙台日立生コン(株)	981－3111　仙台市泉区松森字阿比古83-1	022－372－5341
	泉コンクリート工業(株)大和工場	981－3624　宮城県黒川郡大和町宮床字五寺坊87-2	022－346－2790
	仙台生コンクリート(株)本社工場	983－0005　仙台市宮城野区福室字県道前23番地	022－258－0211
	仙台中央生コン(株)	981－1103　仙台市太白区中田町字後河原1番地	022－241－3121
	仙台中央生コン(株)　多賀城工場	985－0833　多賀城市栄二丁目6-15	022－363－3535
県南	仙南生コンクリート(株)本社工場	989－0701　宮城県刈田郡蔵王町宮字二ッ坂10番地	0224－32－2331
	白石生コンクリート(株)	989－0734　白石市白鳥二丁目14番地	0224－25－2828
	宮城県南生コン(株)	989－1201　宮城県柴田郡大河原町大谷字中下川原35番1	0224－52－3233
	角田レミコン(株)本社工場	981－1505　角田市角田字野田前95番地	0224－63－3211
	角田レミコン(株)亘理工場	989－2207　宮城県亘理郡山元町八手庭字北向89番地の1	0223－37－2700
石巻	(株)オナガワ	986－2231　宮城県牡鹿郡女川町浦宿浜字浦宿81-3	0225－53－3108
	石巻カイハツ生コンクリート(株)	981－0501　東松島市赤井字川前二番124番地	0225－82－2381
	(株)トウブ石巻	986－0011　石巻市湊字草刈山28	0225－93－0381
	富士生コンクリート(株)	986－1111　石巻市鹿又字道的前335番地	0225－75－2021
	(株)平成生コンクリート	986－2102　石巻市沢田字広見山41番地の1	0225－97－5752
大崎	仙台カイハツ生コンクリート(株)	981－3411　宮城県黒川郡大和町鶴巣大平字新田60－1	022－343－2031
	(株)大崎共同生コン 東工場	987－0006　宮城県遠田郡美里町関根字堤筒66-1	0229－34－2316
	(株)大崎共同生コン 西工場	981－4305　宮城県加美郡加美町字宮田1番地の1	0229－67－3301
	(株)大崎共同生コン 南工場	981－3602　宮城県黒川郡大衡村字柧木126－11	022－345－5161
	(株)大崎共同生コン 北工場	989－6434　大崎市岩出山字下川原町232番地	0229－72－0439
気仙沼	(株)カイハツ生コン　気仙沼工場	988－0822　気仙沼市切通168－1	0226－23－3409
	気仙沼小野田レミコン(株)	988－0212　気仙沼市最知森合27－1	0226－27－3225
	北部生コンクリート(株)	988－0055　気仙沼市反松9-6	0226－23－6611
	(株)高野コンクリート	986－0764　宮城県本吉郡南三陸町志津川字大久保7番地1	0226－46－5403
県北	大協企業(株)北宮城生コン工場	987－2233　栗原市築館字照越永平53	0228－22－1431
	(株)築館生コン	987－2272　栗原市築館字留場久伝145番地	0228－22－4031
	(株)登米共同生コン　中田工場	987－0611　登米市中田町浅水字長谷山326の1	0220－35－2066
	(株)佐沼生コン	987－0403　登米市南方町字内ノ目45	0220－58－2205
	(有)アール・コマ	989－5301　栗原市栗駒岩ヶ崎岩倉9番地1	0228－45－5771
	丸宮コンクリート工業(株)	987－0353　登米市豊里町笑沢153番地	0225－76－2305
	(株)クリハラ生コン	987－2223　栗原市築館字萩沢加倉7-1	0228－22－7811
	(株)岡崎工業所	989－5301　栗原市栗駒岩ヶ崎明神42－1	0228－45－2233
	(株)登米共同生コン	989－4601　登米市迫町新田字日向56	0220－29－4055

４．品質管理監査 年間スケジュール

年/月	品質管理監査会議	品質監査委員会	事務局
H24/3		3 月/15 日 平成 24 年度品監説明会	
4			4/27 技術委員会委員，監査補助員および QC ｻｰｸﾙ活動ﾒﾝﾊﾞｰ選任 4/27 監査会議委員，監査委員会委員の選任 4/27 平成 24 年度品質監査対象工場の決定
5			5/18～ 中間監査-日程調整 5/22 技術委員会(第 1 回) 5/30 国土交通省東北技術事務所との打合せ 5/31 品質監査補助員会議(第 1 回)
6	6/12 平成 24 年度合同会議 (第 1 回品質管理監査会議および第 1 回品質監査委員会) 議事 (1) 平成 24 年度品質管理監査の実施に関する件 (2) その他		6/6 技術委員会(第 2 回) 6/中旬 QC ｻｰｸﾙ活動会議 6/中～ 査察工場の選定 6/中～ QC-室内実験準備
7		6/下～7/下 中間監査	7/上 QC-室内実験 (追加の調査) 7/上 技術委員会 7/上 国土交通省東北技術事務所との打合せ 7/中 QC ｻｰｸﾙ活動会議
8		8/上～8/下 合格工場査察	8/上 技術委員会 8/中 QC ｻｰｸﾙ活動会議
9	9/中 第 2 回品質管理監査会議 議事 (1)中間監査結果評価の件 (2)品質管理監査(本監査)実施の件	9/上 チェックリスト研修会 第 2 回品質監査委員会 議事 (1)中間監査結果の件 (2)品質管理監査(本監査)実施の件	
10 11		10/上～10/下 品質管理監査(本監査)	10/上 技術委員会 10/中 QC ｻｰｸﾙ活動会議
12	12/中 第 3 回品質管理監査会議 議事 (1)合格工場査察結果評価の件 (2)品質管理監査(本監査)結果評価の件	12/上 第 3 回品質監査委員会 議事 (1)合格工場査察結果の件 (2)品質管理監査(本監査)結果の件	12/中 全国会議へ報告 (1)本監査結果 (2)工場査察結果 (3)平成 25 年度○適ﾏｰｸ使用承認申請
H25/1			1/下 QC ｻｰｸﾙ活動発表会
2	2/下 平成 24 年度合格証交付式		2/下 品質管理監査報告書の作成および配布
3			3/上 平成 25 年度○適ﾏｰｸ申込受付および配布

５．品質管理監査実施項目および要綱

項　　目	中間監査	合格工場査察注1	本監査	摘要
監査項目 １．チェックリスト A 総括的事項（２０項目） 1.経営者の責任 2.社内標準化 3.技術力の確保 4.教育訓練 5.不適合の管理 6.環境保全 7.文書及び品質記録の管理	○	－	○	
B 個別的事項（８９項目） 1.製品の管理基準 2.配合設計基準 3.原材料の管理基準 4.工程管理基準 5.設備の管理基準 6.外注管理基準	○ (一部)*1	○ (一部)*1	○	*1 骨材の現認(B3205)および管理供試体の数を確認(B1102, B4405)。
C 実地調査（５項目） 1.計量精度の検査 2.製品の検査 (1)圧縮強度 (2)スランプ及び空気量 (3)塩化物含有量 3.容積の検査	○	○	○	
望ましい事項の調査（１１項目）	○ (一部)*2	×	○	*2 特殊コンクリートの製造技術力(A0304)。
２．その他 単位水量の検査	○*3	○*3	○*3	*3 土研法による
監査要綱 １．対象工場数	42 工場*4	9 工場	42 工場*4	*4 乗入れ監査 (対象工場の30%以上)
２．実施時期	6/下～ 7/下	8/上～ 8/下	10/上～ 10/下	
３．実施方法	補助員 ２名	監査員 １名 補助員 １名	監査員 １名 補助員 １名	
４．実施工場数	２工場 ／日	１工場 ／日	１工場 ／日	

注 1) 前年度合格工場の 20%以上とし，品質監査委員会委員長の了承を得て決定する。

2) 結果の取り扱いについて

①「監査項目」の「１．チェックリスト」において，減点となった項目については項目ごとに「改善計画書（報告書)」を監査員経由で品質管理監査会議事務局宛て提出する。

②「監査項目」の「２．その他」の「単位水量の検査」において，その評価は測定後ただちに行い，推定誤差が設計値±15kg/m^3 を超えた場合は再試験を実施する。再試験でも設計値±15kg/m^3 を超えた場合は不合格とし，工場は，原因を調査し改善結果と共に，「改善報告書」を監査員経由で品質管理監査会議事務局宛て報告する。ただし，中間監査においては，測定結果の確認までとし，不合格の場合は工場で自主的に改善を行う。

６．品質管理監査適合判定基準

平成 24 年 4 月

平成 24 年度適合判定基準

全国生ｺﾝｸﾘｰﾄ品質管理監査会議

１．　監査方法は減点法とし，各監査項目の減点数は，別表 平成 24 年度全国統一品質管理監査減点表に示す。

２．　JIS ﾏｰｸ表示認証を受けた製品を製造する工場(JIS ﾏｰｸ表示認証工場)で，且つ，　以下の場合を適合と判定する。

①各監査項目の減点数の合計(ﾄｰﾀﾙ減点数)は，20 点以下であること。

②実地調査における C0101 材料の計量精度，C0201 圧縮強度，C0202 ｽﾗﾝﾌﾟ及び空気量，C0205 塩化物含有量の評価は，いずれも C 評価ではないこと。

③A0301 ｺﾝｸﾘｰﾄ技士，A0302 QMR，B1102 製品の適合性確認，B3205 貯蔵骨材の現認，B4405 強度検査の評価は，いずれも C 評価ではないこと。

以上

７．チェックリストの主な改正点

平成 24 年 4 月

平成 24 年度ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ全国統一品質管理監査基準ﾁｪｯｸﾘｽﾄの主な改正点

１．望ましい事項から順守事項への昇格

平成 23 年度監査結果及びｱﾝｹｰﾄの回答を受けて検討した結果，次の 2 項目を順守事項に昇格させた。

・B5118（粗骨材表面水率補正装置）

・B5120（計量印字記録装置）　（旧 B5120+を包含）

B3206（細骨材表面水率の安定化）及び B4304（細骨材表面水率の管理）は，順守事項への昇格を見送り，望ましい事項のまま残した。ただし，B3206（細骨材表面水率の安定化）については判定を見直した。

２．監査基準のﾀｲﾄﾙ名の変更

A0304：特殊ｺﾝｸﾘｰﾄ → 特殊ｺﾝｸﾘｰﾄの製造技術力

B5109：人工軽量骨材のﾌﾟﾚｳｪｯﾃｨﾝｸﾞ設備 → 骨材のﾌﾟﾚｳｪｯﾃｨﾝｸﾞ設備

B5117：細骨材表面水補正装置 → 細骨材表面水率補正装置

B5118：粗骨材表面水補正装置 → 粗骨材表面水率補正装置

B5124：ｽﾗｯｼﾞ水濃度計 → ｽﾗｯｼﾞ水の濃度測定器具又は装置

３．統合及び新設

・A0601（環境保全）に旧 A0604（公害防止管理者）を統合した（旧 A0604 は削除）。

・B5120（計量印字記録装置）に旧 B5120+（計量印字記録装置の整合性）を統合した（旧 B5120+は削除）。

・B5120*（単位量自動算出機能付き計量印字記録装置）を，望ましい事項として新設した。

４．JIS A 5308 追補改正（平成 23 年 12 月）及び JIS Q 1011 追補改正（平成 24 年 3 月）に伴う改正

・B4207（ｽﾗｯｼﾞ固形分率管理）に，ｽﾗｯｼﾞ固形分率を 1%未満で使用する場合（低濃度ｽﾗｯｼﾞ水法）の対応を追記した。

・B4501（運搬時間）において，「規定された時間以内に荷卸しをしていること。」を，「規定された時間以内に荷卸し地点に到着していること。」に変更した。

・B5124（ｽﾗｯｼﾞ水の濃度測定器具又は装置）に，JIS A 1806 によりｽﾗｯｼﾞ水の濃度を試験する場合，あらかじめ定めた間隔でｽﾗｯｼﾞ水濃度換算係数を見直すことを追記した。

５．公害防止管理者の届出及びその代理者の選任

A0601（環境保全）において，特定工場は，法令上必要とされる公害防止管理者を選任し，都道府県知事へ届出していることが義務付けられているため，これを追記した。また，その代理者に関しては，公害防止管理者が旅行，疾病その他の事故によってその職務を行うことができない場合に，その代理者を選任し，届け出る義務があるため，あらかじめ公害防止管理者の代理者を選任することを追記した。

６．技術管理者の選任

A0603（産業廃棄物処理）において，廃棄物処理施設（1 日当りの処理能力が 10㎥を超える脱水処理施設）の設置者は，法令上必要とされる技術管理者を置くことが義務付けられているため，技術管理者を選任することを追記した。

以上

別 表

平成24年度全国統一品質管理監査減点表

A総括的事項の調査（20項目）

項目	A	B	C	S
A0101 品質方針	0	-2	-4	
A0102 ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾚﾋﾞｭｰ	0	-2	-4	
A0103 ｸﾛｰｼﾞﾝｸﾞ会議	0		-8	
A0201 責任と権限	0	-2	-4	
A0202 社内標準化	0	-2	-4	
A0203 社内規格の見直し	0	-2	-4	
A0301 ｺﾝｸﾘｰﾄ技士	0	-10	不適	
A0302 QMR	0	-10	不適	
A0401 教育･訓練	0	-2	-4	
A0501 是正処置	0	-2	-4	
A0502 予防処置	0	-2	-4	
A0503 不適合品の管理	0		-4	
A0504 苦情処理	0	-2	-4	
A0601 環境保全	0		-8	
A0602 中和装置	0		-8	
A0603 産業廃棄物処理	0		-8	
A0605 排水管理	0		-8	
A0701 文書の識別	0	-2	-4	
A0702 記録の識別	0	-2	-4	
A0703 ASR試験記録の永久保存	0	-2	-4	

B個別的事項の調査(89項目)

項目	A	B	C	S
B1101 製品の要求品質	0		-8	
B1102 製品の適合性確認	0		不適	
B1201 契約内容の確認	0	-2	-4	
B1202 契約内容の伝達	0	-2	-4	
B1301 容積の管理基準	0		-8	
B1302 容積の検査	0		-8	
B2101 配合設計手順	0		-8	
B2201 設計ｲﾝﾌﾟｯﾄ事項	0		-8	
B2301 標準配合表	0		-8	
B2401 配合変更条件	0		-8	
B2402 配合修正条件	0		-8	
B2501 基礎資料	0		-8	
B3101 ｾﾒﾝﾄの要求品質等	0		-8	
B3102 ｾﾒﾝﾄの受入検査	0		-8	
B3103 ｾﾒﾝﾄの圧縮強さ	0		-8	
B3104 ｾﾒﾝﾄ入荷時の確認	0		-8	
B3201 骨材の要求品質等	0		-8	
B3203 骨材の受入検査	0		-8	
B3204 骨材入荷時の確認	0		-8	
B3205 貯蔵骨材の現認	0		不適	
B3207 骨材のｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応抑制対策	0		-8	
B3208 人工軽量骨材の保管管理	0		-8	
B3209 納入業者からの骨材購入	0		-8	
B3210 あらかじめ混合した骨材	0		-8	
B3301 水の要求品質	0		-8	
B3302 水の検査	0		-8	
B3401 混和材料の要求品質等	0		-8	
B3402 混和材料の受入検査	0		-8	
B3403 JISに規定されていない混和材料の受入検査	0		-8	

項目	A	B	C	S
B4101 目標品質の明確化	0		-8	
B4201 細骨材の粗粒率	0		-8	
B4203 骨材の併用	0		-8	
B4204 粗骨材の粗粒率	0		-8	
B4205 細骨材の表面水率	0		-8	
B4206 粗骨材の表面水率	0		-8	
B4207 ｽﾗｯｼﾞ固形分率管理	0		-8	
B4208 人工軽量骨材の含水率	0		-8	
B4301 材料計量方法	0		-8	
B4302 動荷重検査	0		-8	
B4303 計量記録の整備	0		-8	
B4401 練混ぜ方法	0		-8	
B4403 ｽﾗﾝﾌﾟ･容積の目視	0		-8	
B4404 ｽﾗﾝﾌﾟ検査	0		-8	
B4405 強度検査	0		不適	
B4407 空気量検査	0		-8	
B4408 塩化物含有量検査	0		-8	
B4409 単位容積質量(軽量)	0		-8	
B4410 ｺﾝｸﾘｰﾄ温度	0		-8	
B4412 高強度ｺﾝｸﾘｰﾄの単位水量	0		-8	
B4501 運搬時間	0		-8	
B4502 残水の排出	0		-15	
B4503 ﾄﾞﾗﾑ内への加水禁止	0		-15	
B4504 雨水対策	0	-2	-4	
B4505 誤納防止	0		-15	
B4506 納入書	0		-8	
B4601 付着ﾓﾙﾀﾙ再利用	0		-8	

項目	A	B	C	S
B5101 ｾﾒﾝﾄ貯蔵設備	0		-8	
B5102 ｾﾒﾝﾄ品種表示板	0		-15	
B5103 骨材貯蔵設備	0		-8	
B5105 細骨材置場の上屋	0	-4	-8	
B5106 粗骨材置場の上屋	0	-2	-4	
B5107 ｺﾝﾍﾞｱのｶﾊﾞｰ	0	-4	-8	
B5109 骨材のﾌﾟﾚｳｪｯﾃｨﾝｸﾞ設備	0		-8	
B5110 骨材の受入･供給ｼｽﾃﾑ	0	-2	-4	
B5111 混和材料貯蔵設備	0		-8	
B5112 静荷重検査	0		-8	
B5113 電気式校正器	0		-8	
B5115 容量変換装置	0		-8	
B5117 細骨材表面水率補正装置	0		-8	
B5118 粗骨材表面水率補正装置	*0*	*-1*	*-2*	
B5119 混和剤過剰添加防止装置	0	-2	-4	
B5120 計量印字記録装置	*0*	*-1*	*-2*	
B5121 ﾐｷｻ練混ぜ性能	0		-8	
B5123 運搬車性能検査	0		-8	
B5124 ｽﾗｯｼﾞ水の濃度測定器具又は装置	0		-8	
B5125 ｽﾗｯｼﾞ水濃度調整設備	0		-4	
B5201 検査設備	0		-8	
B5203 機器の保護手段	0		-8	
B5204 養生水槽の管理	0		-8	
B5206 機器の校正	0		-8	
B5207 校正状態の識別	0		-8	
B6101 材料試験の外注	0		-8	
B6102 設備維持保全の外注	0		-8	
B6103 検査･試験設備校正の外注	0		-8	
B6104 運搬車性能試験の外注	0		-8	
B6105 運搬の外注	0		-8	
B6106 工程管理試験の外注	0		-8	
B6107 製品試験の外注	0		-8	
B6108 容積試験の外注	0		-8	

望ましい事項の調査(11項目)

項目	a	b	c	s
A0304 特殊ｺﾝｸﾘｰﾄの製造技術力				
B3202 骨材製造業者による品質保証				
B3206 細骨材表面水率の安定化				
B4304 細骨材表面水率の管理				
B4411 単位水量				
B5104 粗骨材の2分割貯蔵				
B5108 表面水率連続測定装置				
B5114 分銅				
B5120 単位量自動算出機能付き計量印字記録装置*				
B5122 運搬車ﾄﾞﾗﾑの管理				
B5202 試し練りﾐｷｻ				

C実地調査(5項目)

項目	A	B	C
C0101 材料の計量精度	0	-8	不適
C0201 圧縮強度(強度比1.50以上は-1点)	0	0	不適
C0202 ｽﾗﾝﾌﾟ及び空気量	0	-10	不適
C0205 塩化物含有量	0		不適
C0206 容積	0		-10

注：斜体部は新規項目及び平成24年度新規昇格項目を、網掛け部は項目名の変更箇所を示す。